

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 5年 9月 8日13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	-------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均(欠)	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
石井 広美(Zoom)	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司(Zoom)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子(欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
栗栖 純穂(欠)	当該サービスに知見を有する者	センター北 ユア クリニック 院長
菅井 直樹(Zoom)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立(Zoom)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
石濱 千秋	事業所職員	管理者
宮島 佳代(欠)	事業所職員	統括管理者
青柳 かおる	事業所職員	副管理者
佐藤 恵理	事業所職員	看護リーダー
羽後 みゆき	事業所職員	介護主任
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
上條 由佳	事業所職員	事務

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

【救急搬送された方について】

・深澤医師より「どういった状況で、救急搬送されたのか？」→通い中に強い腹痛訴え、主治医に緊急往診してもらい、救急搬送となった。

【人員不足について】

中川地域ケアプラザ 石井さんより→こちらも同じで人員確保が大変。

募集をしてもなかなか集まらない。5時の早朝からのシフトも大変だと思う。

うちも大変だが、お互い頑張っていきましょう。

【夕涼み演奏会について】

高齢・障害支援課 菅井さんより→頑張っていらっしゃるなど。

夕涼み演奏会のオンライン配信の取り組みも、いらっしゃらない方の為に良いですね。

夕涼み演奏会の開催、素晴らしいと思う。

オンラインで見た方はいましたか？→はい

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

・人員不足については、継続的に求人を行っていく

・現在の登録者には、身体能力がある方がいらっしゃるのでレクを充実させていきたいと考えている。

・クリスマス会でもサックス演奏予定している。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

※ 会議は原則事業所内で行ってください。

やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 5年 8月

登録者数(8月 31日現在)	女性 11名	男性 6名	計 17名					
要介護度	要支援1 0名	要支援2 0名	要介護1 0名	要介護2 3名	要介護3 2名	要介護4 0名	要介護5 12名	申請・区変中 0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者(匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	9	1	15	2 (訪問看護)
イ	20	0	17	2
ウ	11	0	29	9
エ	8	0	18	10
オ	15	1	27	13
カ	12	0	20	6
キ	12	10	2	1
ク	9	0	25	6
ケ	31	26	9	3
コ	20	1	26	2
サ	11	2	17	5
シ	27	25	8	79
ス	6	1	10	14 入院:7/26-8/10
セ	12	2	34	0
ソ	8	7	5	0 入院:8/22~
タ	10	0	40	4
チ	14	6	18	0
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	13.82	4.82	18.82	平均要介護度 4.23

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 育成計画を改善し、より良い計画にブラッシュアップする 2. 具体的な行動ができるように災害時のマニュアルを見直す 3. 職員のACPの理解を深め、実践できる 4. 他部門との一体化を強化と新規雇用で職員を確保し、登録者数を増やす
目標に向けた 具体的取組	<ol style="list-style-type: none"> 1-1) 職員にヒアリングをし育成計画の課題を明確にして、計画に反映する 2-1) 災害時の具体的な行動を考え、マニュアルを見直し、作成する 3-1) ACPの研修会の開催 4-1) 職員間の伝達、職員の異動、新規雇用を進める

5. 活動報告

<p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会・管理者会議・運営推進会議・運営会議・喀痰吸引会議・身体拘束/虐待報告検討会議・BCP策定会議 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会・管理者会議・運営会議・喀痰吸引会議・身体拘束/虐待報告検討会議 ・「聞こえないってどんなこと～手話を学んでみよう」(職員向け研修): 横浜ラポールからの出前講座 ・人権擁護/高齢者虐待防止/身体拘束防止研修 ・牛久保西盆踊り大会見学(利用者1名) ・夕涼み演奏会: ナーシングホーム、オンラインにて開催 ・オレンジガーデニングプロジェクト→育った苗を利用者に配布した。 <p>毎週水曜日: ヘルパー/看護会議(内2回合同会議/カンファレンス) 毎週木曜日: 一体化会議</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>【服薬方法間違い】</p> <p>食事は完全経口摂取で、内服薬に関しては、胃ろうからの注入だったが、経口から内服させてしまった。 家族から連絡帳に「薬の内服方法は耳鼻科の検査後に決めていく」ということが記載されていた。</p>
改善策	<p>連絡帳の記載内容を来所時すぐに確認すること。 クリニックからの診療レポートを確認すること。</p>

内容	<p>【転倒・肋骨骨折】</p> <p>通い利用中、脱衣所の椅子から、ひとりで立ち上がり浴室へ移動しようとしたところ、浴室内で転倒。 すぐに息子様、主治医に連絡し、臨時往診。骨折の可能性が高いとの判断で、整形外科受診肋骨骨折の診断を受ける。 通常はひとりの移乗・移動は問題なく自立していた。 介助者は、洗濯物を袋に入れるため、本人に背を向けた状態にいたため、立ち上がりの発見が遅れた。</p>
改善策	<p>脱衣から入浴までの流れの手順を再検討し、本人をスタッフの視野から外さない。 脱衣室・浴室の物品の配置などの再検討する。 →横浜市福祉局に事故報告済</p>

内容	<p>【塗布薬返却忘れ】</p> <p>入浴時使用した塗布薬を脱衣場に置いたままにし、本人に返却するのを忘れた。</p>
改善策	<p>入浴終了後に使用した物品が、脱衣所・浴室に残っていないか確認すること 浴室清掃後に清掃者が再度確認する</p>

8. その他特記事項

<p>(職員の入退職・異動等)</p> <p>7月: 非常勤看護師2名退職 8月: 非常勤介護職(訪問介護兼務)1名退職</p>
--